



夏

の素謡と

仕舞の会

言葉の響きの美しさ

素謡 能の台本を謡い語る

仕舞 能の一部を紋付袴姿で舞う

恋重荷 こいのおもに

大江又三郎

砧 きぬた

観世 清和

杜若 かきつばた

河村 晴久

通小町 かよいこまち

浦田 保親

Su-utai & Shimai

2018 Summer, Kyoto Kanze Nohplay Theater.

日時

平成30年 7月8日(日)

午前11時 開演 (10時30分開場)

場所

京都観世会館

京都市左京区岡崎円勝寺町44

入場料

チケットのお申込みは、お電話またはホームページから受付承ります。

一般前売 4,500円

一般当日 5,500円

全館自由席

学 生 2,500円

夏の素謡と仕舞の会

平成三十年七月八日(日)
午前十一時開演(十時三十分開場)

通小町

大江 信行
浦田 保親
浅井 通昭

(地謡)
浦田 親良
大江 泰正
浦田 保親
浦田 保親
浦田 保親
浅井 通昭

杜若

河村 晴久
杉浦 豊彦

(地謡)
樹下 千慧
大江 広祐
河村 和晃
吉田 篤史
河村 晴久
小野 裕久
井上 裕久
杉浦 豊彦

砧

吉浪 壽晃
清和 片山九郎右衛門

(地謡)
梅田 嘉宏
吉浪 壽晃
林 宗一郎
味方 團
分林 道治
観世 清和
片山九郎右衛門
河村 晴道

恋重荷

田茂井廣道
大江又三郎
河村 和重

(地謡)
宮本 茂樹
松野 浩行
田茂井廣道
浦部 幸裕
河村 和重
片山 伸吾
橋本 雅夫
大江又三郎
河村 和重

通小町

八瀬の山里で夏籠りをしている僧のもとへ、毎日木の美や新を届ける女がいます。不審に思った僧が素性を尋ねると、市原野に住む姥であると言います。女の言葉の端々からこれは小野小町の幽霊だと確信した僧は、市原野へ行きその跡を辿ります。やがて小町の幽霊が現れ、僧の甲斐を謝しますが、それを妨げる者が現れます。昔小町に恋をした

杜若

旅の僧が三河国八橋に着き、今が盛りの杜若に見入っていると、一人の女が現れ「伊勢物語」にある八橋の地の諷れと、在原業平が后高子を想い「カキツバタ」の五文字を句の始めに置いて詠んだ和歌「かづこもきつつなれにしつみしあればはるばるきぬるたびをしぞおもふ」を教え、自分の庵に案内します。やがて、女が歌に

素謡とは

能の台本(謡本)を、舞台上で謡う演奏形式です。謡うことと語ることで情景や心情を表現します。能には「源氏物語」や「平家物語」などの古典を題材にした名作が多く伝わり、おりの詞(詞章)の美しさは高い評価を得ています。素謡は、その「謡うことと語ること」のみのシンプルな表現の面白さから、大正の頃より大変な流行となりました。また、京都には歴史的に「京観世」とよばれる「素謡」の文化があります。江戸初期寛文の時代、服部宗巴(九世観世大夫黒雪の弟、服部権元)の息のこに福王盛親が、西陣にあったといわれる観世屋敷で謡の教授をしたのが始まりです。以後、京都では能だけでなく、人々が謡だけをたしなむ「素謡」というジャンルが好まれ、連綿と受け継がれてきました。戦前は、京の杜若で謡の音がよく聞かれたようです。情緒豊かな「素謡」をライブでじっくりと聴いてみてください。

仕舞とは

能の一部(見せごころ)を、紋付袴姿で、謡にあわせて舞う演奏形式です。ほとんどの曲は扇を持ちますが、演目によっては長刀や杖などを持つものもあります。舞い手の骨格が見えやすいので、能のアクションと評され、演者の個性と技がじっくり楽しめます。数分の演技で能の醍醐味が味わえます。

砧

九州岩屋の某は訴訟のために京へ来た。三年、留守を守る妻の元へこの秋に帰るとの知らせを持たせ夕霧を遣わします。妻は夫の永い不在の寂しさを慰めるように夕霧を相手に砧を打ちます。蘇武の妻が夫を想い打つた砧の音が胡国の蘇武に届いた、という中国の故事を引き、一心に砧を打ちます。砧の音に寄せて、吹く風、月の色、杜鹿の声、虫の音、置く霜...と、物悲しい晩秋の情趣が語られます。そして、露が落ちるようにはほろほろはらとこぼれる涙。しかしやがて、暮れにも夫は帰れないとの知らせが届き、妻は絶望のうちに命を落とします。妻の死を知って豊か帰った夫の前、妻の怨霊が現れ、夫の心変わりを責め立てますが、法華経の力で成仏します。

恋重荷

白川院で菊の世話をする老人山科莊司は、ふとしたことから美しい女御を見かけ恋に落ちます。女御は、到底持てたことのない重荷を美しく仕立て「この荷を持って庭をめぐれば、きつと姿を見せましよう」と臣下に伝えさせます。しかし、もとより持てるはずもなく、莊司は、恋の成就しないこと、女御にもあそばされ

夏の素謡と仕舞の会

日時 平成30年 7月8日(日) 午前11時開演(10時30分開場)

場所 京都観世会館 京都市左京区岡崎円勝寺町44

入場料 一般前売 4,500円 一般当日 5,500円 学生 2,500円

【お問い合わせ】 ■web予約も可能です。
TEL.075-771-6114 <http://www.kyoto-kanze.jp>

※お車の方は、会館東隣りの駐車場、または岡崎公園市営駐車場をご利用ください。
※見所内での写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。
※携帯電話の着信音・時計のアラーム音が鳴らないよう、あらかじめ電源をお切りください。
※都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。

